

【活動の主題】 ありがとう伊香具小学校
【副題】 ~伊香具小学校の思い出をつくろう~

【学校名】 長浜市立伊香具小学校

1 本校の概要

本校は、長浜市木之本町の賤ヶ岳のふもとに在る自然豊かな学校である。全校児童は44名で、複式学級を含む全5学級の小規模校である。近年の少子化により、令和8年4月をもって木之本小学校と統合となり、115年の歴史にピリオドを打つことになる。

2 取り組んだ内容

(1) ありがとう伊香具小学校

4月当初、子どもたちは来年には学校が閉校となるという一抹の寂しさと、違う学校に通う不安を抱えてのスタートであった。寂しさ・悲しさは当然あるのだが、この1年間、下を向かずに思い出をたくさん残すという前向きな気持ちをもたせるために、たくさんの思い出作りを行った。全校児童による航空写真の撮影や運動会・学習発表会での保護者や地域の方々に向けて「ありがとう伊香具小学校メッセージ」、閉校記念文集づくり、地域の方々とのふれあい給食など思い出に残る行事を行ってきた。また、日常でも、『ここが大好き！伊香具小』という掲示を行い、子どもたちが伊香具小の好きなところを付箋に書いたものを貼っていった。また、閉校までの日数をカウントダウンし、その1日をどのように過ごしたいかを、児童一人ひとりが書いたものも掲示している。



(2) ありがとう地域のみなさん

伊香具小学校は地域の皆さんによって支えられてきた小学校である。スクールガードや図書ボランティア、環境整備ボランティアなど日常の学校生活をサポートしてくださっている。また、外部団体として『伊香具子どもの活動支援会議』があり、休



日等にサツマイモ掘りやもちつき大会、宝探しビンゴゲームなどの『よっといデー』イベントを実施したり、長期休業中に『学習サポート』をしたりしていただいたりした。



また、地域の伝統産業である糸取り工房や歴史の深い伊香具神社の見学、賤ヶ岳清掃など地域の方々にお世話になる機会が大変多い。そこで、閉校に向けて、地域のみなさんに感謝の気持ちを込めて、お盆期間に地域に学校開放をしたり、学習発表会では全戸配布して地域の方々を招待したりした。3月には閉校式をはじめ閉校行事にも地域の方々を招待する。



3 活動の成果と課題

1年を通じて、『ありがとう伊香具小学校』を掲げて取り組んできた。子どもたちは、この取り組みを重ねることで学校に愛着を持ち、残された日を大切に過ごそうという雰囲気が学校中にあふれてきた。特に3学期、閉校までのカウントダウンを行うと、子どもたちは、感謝の思いや残りわずかな日を前向きに過ごそうというような気持ちがあふれるメッセージを書いている。また、地域のすばらしさを再発見したり、地域の人々の温かさをじかに触れたりすることで、ふるさと伊香具を誇りに思う児童が増えたようである。そのような愛郷心は、自尊感情を高め、自信をもって新しい生活を送る上で確かな支えになると考えている。4月から子どもたちのさらなる飛躍を期待している。

課題としては、閉校となった地域の地盤沈下を危惧している。特に、これまで陰に陽に支えてくださった地域の人材が子どもから離れていく状況が予想される。そこで、学校はなくても子どもたちは地域にいますので、引き続き安全指導などを中心にお願ひして、子どもたちが安心して生活できるよう、地域の方々に働きかけていきたい。